

進路だより



～一緒に夢を見 一緒に夢を語り 一緒に夢を追う～

〈西高桜咲かせ隊〉 進路指導部

2022年のしめくくり

いよいよ今年も最後の月『師走』となりました。

師走は当て字で、師走の主な語源説として、師匠の僧がお経をあげるために、東西を馳せる月と解釈する「師馳す(しはす)」。この説は、平安末期の「色葉字類抄(いろはじるいしょう)」に、「しはす」の注として説明されているようです。その他にも、「年が果てる＝年果つ(としはつ)から変化した説」、「きっちり仕事をすべて終える＝仕極つ(しはつ)が変化した説」、「季節が終わる＝四季が極む＝四極(しはつ)が変化した説」などがあります。どの説もそれらしく思えるのですが、なぜ「師走」という漢字があてられたのかが不明瞭です。やはり「先生も走り回るほど忙しい」から師走、というのが最も覚えやすいでしょうかね。

さて、3年次生は、間近に迫った大学入試に向けて最後の追い込みに入っています。ちまたでは、もうすぐクリスマスに正月と、何かと慌ただしいこの時期ですが、しっかりと腰を据えて1日1分1秒を大切に過ごしてください。

12月は保護者懇談

3年次生は、この懇談で受験校を決定していくこととなります。特に「私立大学」は冬休み後すぐに願書受付が始まります。まずは、私大の受験についてどうするか？をしっかりと確認しましょう。私大受験の基本は、「合格確保校(滑り止め)」、「ボーダー校」、「目標校」という3つを考慮すること。また、一般受験で一番募集人員が多い方式を軸にして他方式も考えていくといいでしょう。(滑り止め校は、後になればなるほど難しくなります)

1. 2年次のみなさんは、後期中間考査や11月進研模試の結果をしっかりと振り返り、保護者懇談での担任からのアドバイスを真摯に受け止めて、冬休みを有効に過ごしてください。

<3年次生へ> 「目標は逃げない。自分が逃げない限り！」

11/21に、最後の模試が終わりました。今まで通り『見直し』をしっかりとやって下さい。現時点での『伸びしろ』は、ケアレスミスがあった部分です。見直しをして、それに気づけば、得点に加算できます。まだまだ、『伸びしろ』はたくさん詰まっているはずです。過去の模擬試験をもう一度解いてみると、以前は解けなかった問題が、今は解けるようになっていくことがあります。まだできなければ、そこをもう一度やってできるようにする。それが『伸びしろ』です。ぜひ、これまでの模擬試験の問題をもう一度やってみてください。

共通テストまであと50日を切りました。『あと〇〇日しかないので諦める』のか『まだ〇〇日あるので最後まで粘ろう』と取り組むかでは、全然結果が違ってきます。一日の中で、マーク演習に取り組んでいる時間が長くなっていきますが、時間配分や解く順番など、自分にあった方法を身につけることも考えて取り組んでください。共通テストは、『習うより慣れる』です。

<1年次生&2年次生へ>

冬季休業中の過ごし方のポイントは、次の2つです。

- ① 学校の課題(宿題)は、できるだけ年内に終わらせるようにする。
- ② 苦手教科・科目や苦手分野の学習を集中的に行う。

模擬試験の結果から、自分が取り組むべき教科・科目や分野を考えてみよう。

12月の進路に関する行事

- 土曜補習 : 12/3(土) 1・3年次, 12/10(土) 全年次
- 3年次 受験スケジュール作成: 12/1(木)、8(木)LHR
- 3年次 冬季補習 : 12/16(金)~22(木) 午後
- 3年次 プレパック : 12/17(土), 24(土)

<進研総合学力テストの活用法>

～2年次の判定について～

2年次、秋の進研総合学力テストは、5教科受験でした。

しかし、志望校の判定は次の教科をもとにA～Eのアルファベットで示されています。

国公立大学 : 英語・数学・国語 3教科

私立大学の文系学部 : 英語・国語 2教科

私立大学の理系学部 : 英語・数学 2教科

実際の受験科目と異なるので、判定を鵜呑みにはできません。現在の判定について、次のように考える

とよいでしょう。

- A 滑り止め校と考えた方がよい。
- B・C 現時点での学力相応校? →弱点分野を補強する対策をするとよい。
- D 当面、目標とする大学? →基礎教科(英数国)をさらに補強するとよい。
- E 得意科目を意図的につくること。

～設問別得点率復習法について～

次に、設問別得点率を参考とした復習方法について、紹介します。

Q ; 次の表は、各問題別の得点と全国平均点です。この人の場合、第1～4問のどの問題の分野から復習するといいいですか?

例	得点	全国平均点	差
第1問	6	5.8	+0.2
第2問	12	8.4	+3.6
第3問	9	7.2	+1.8
第4問	12	12.8	-0.8
合計	39	34.2	+4.8

個人成績表には、このように各設問別の得点と全国平均点も記載されています。

そこで、**その差を見て弱点分野を復習する**という学習方法です。

A ; この例の場合は、**まず第4問の分野**を問題集で復習することです。

この方法は、理科・数学、地歴などで有効な方法といわれています。